

# 高見山 霧氷に感動！

[日程] 2014年02月11日(火) [日帰り]

[メンバー] 9人

[天候] 晴れ

[アクセス] 近鉄奈良線 榛原駅より、奈良交通バス 高見山登山口まで約1時間

*****コースタイム*****	*****活動状況*****
高見山登山口 10:05 (出発)	<p>登山口から30分ほど上がったあたりから、道が凍結した急登がはじまる。ほとんどの登山者はこのあたりで軽アイゼンをつけていた。最初は腐った泥交じりの雪道が続くが、1時間ほど登って雲母曲を過ぎたあたりから完全な雪道になった。小峠を過ぎると道は急斜面の登りになるが、次第に美しい霧氷が現れて、疲れも吹っ飛ぶ。途中にある笛吹岩からの眺めは絶景。笛吹岩を過ぎると、エビのしっぽが現れる。頂上付近では、樹氷も見られた。頂上の高見神社のあたりは、360度の大パノラマ。神社の下は避難小屋になっていて、多くの人が休んでいた。帰りは榛原駅に戻るバスに乗るために、高見平野をめざす。杉やヒノキの樹林帯を下っていく。途中、樹齢700年の高見杉にであう。この大杉を越えたあたりから、いやらしい木の階段と、金網の橋が何ヶ所もあり、アイゼンをひっかけて転倒しそうになる人が続出。木の階段も、凍っていて滑りやすい。アイゼンを外すタイミングが難しい。樹林帯を抜けたあたりから集落が見え始めるが、延々と続く木の階段で、足の疲れはピークに。高見平野のバス停前にはたかすみ温泉があって、立ち寄っていく人も大勢いた。帰りのバスから見た高見山は、小さな富士山のような感じだった。</p>
雲母曲 (きららひじ) 11:05	
小峠 11:25	
高見神社 (山頂) 12:55	
高見平野バス停 15:20 (解散)	

## [写真]



高見山登山口を出発



しばらくは、泥交じりの雪道が続くが、30分と経たないうちに道が凍結し始めた。



このあたり、平坦な道。太陽があたって、汗ばむくらい。霧氷は見られるのだろうか。



前方に高見山が見えてくる。頂上付近は雪化粧している。



雲母曲に出た。頂上までまだ三分の一くらい。



樹林帯に入ると道が狭くなって、渋滞ができてきた。



美しい杉林をすすむ



ここで林道と出会うが、林道は通行止めになっていて通れない。



小峠で休憩。この先の斜面の階段を上っていく。



登山道に霧氷が現れ始めた。



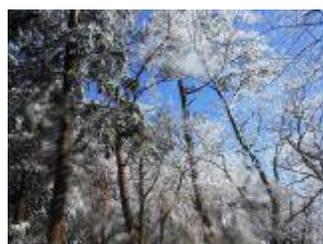
みごとな美しさ。



霧氷の樹林を進む。



山頂まであと三分の一。



青空とのコラボレーションが最高！



エビのしっぽ。



霧氷がどんどん美しくなってくる。



雪の花



霧氷のトンネルをくぐっていく。



言葉にならない美しさ。



国見岩についた。頂上まであと20分！



エビのしっぽも大きくなってきた。



上ばかり見ていると・・・



笛吹岩を通り越してしまいそうになる。



笛吹岩からの眺め。



霧氷と絶景のコラボ。



霧氷が育って、樹氷になりはじめたら、頂上は近い。



頂上の高見神社。



小さな祠がある。お参りする。



頂上からの眺め。



神社の反対側から、三峰山が見えた。こちらのほうが標高が高い。



遠く、大台ヶ原まで見えている。



樹氷のトンネルをくぐって下山する。



少し下ったところで昼食タイム。



700年の樹齢をもつ高見杉。



樹林帯を下っていく。



金網の橋は、アイゼンをひっかけそうで怖い。恐る恐る渡る。



大分下ってきた。木々の間から、ふもとの集落が見え始める。



高見平野に到着。リーダーがぜんざいを作ってくれた。



登山のあとの温かで甘いぜんざい。おいしかった～